

# 学校だより ~3月特別号~

平成30年3月14日  
京都市立醍醐西小学校  
校長 森川 浩孝

URL <http://www.edu.city.kyoto.jp/hp/daigonishi-s/>

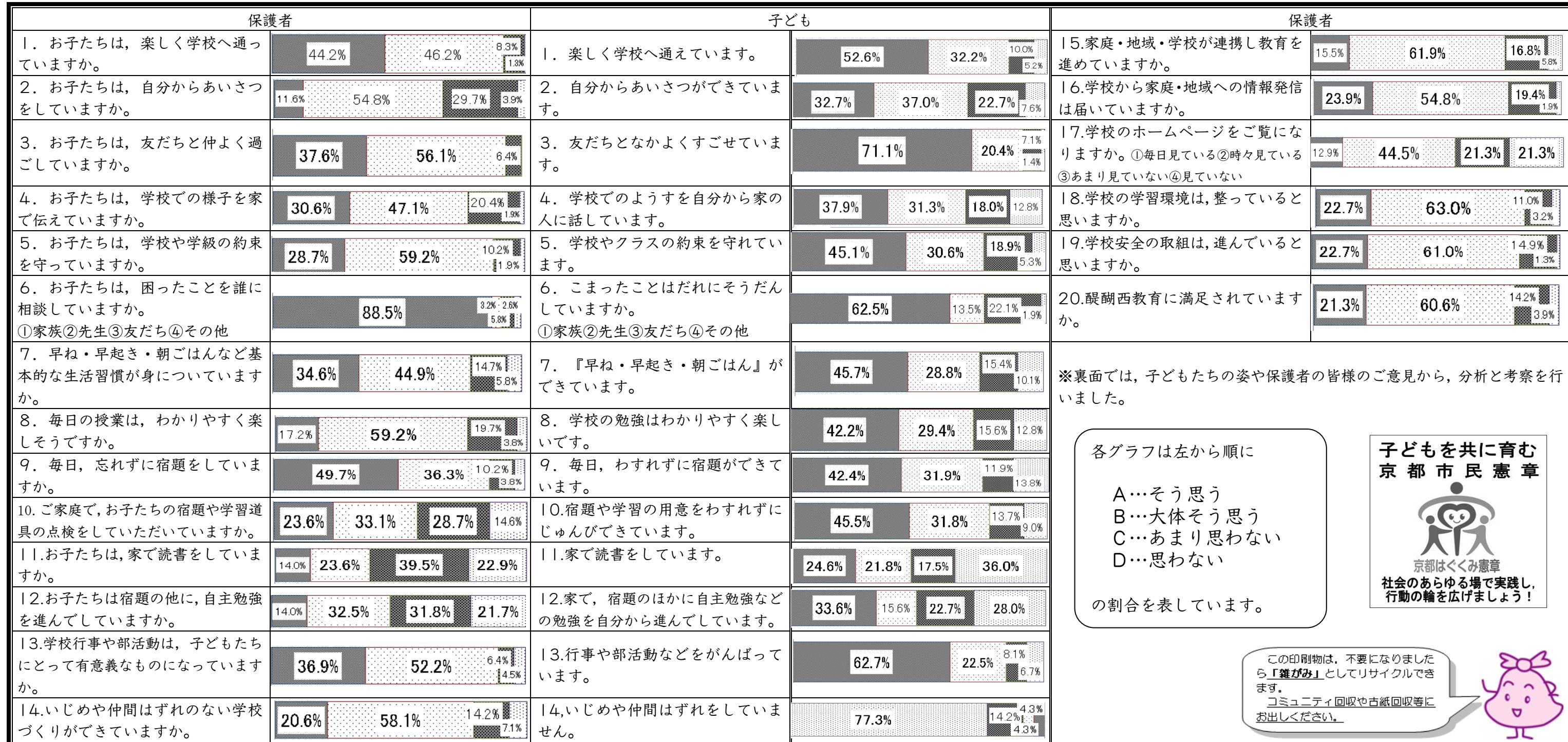
E-Mail [daigonishi-s@edu.city.kyoto.jp](mailto:daigonishi-s@edu.city.kyoto.jp)

〒601-1378 京都市伏見区醍醐川久保町1 Tel571-0221 fax571-4629



保護者の皆様にはお忙しい中、2月に実施いたしました「学校評価」のアンケートにご協力いただきありがとうございました。また、児童には日頃の学習や学校生活の様子についてふり返り、自己評価を実施いたしました。保護者の皆様からいただきました学校評価と児童の自己評価を通して、学校の日頃の取組を見直すきっかけにするとともに、保護者・地域の皆様と一緒に、よりよい教育のあり方を探っていきたいと考えています。今回は、158通の回答をいただき、結果の分析と考察を行いました。

## 平成29年度 後期 学校評価について



# 前期学校評価（2月）の分析・考察

【A…そう思う B…大体そう思う C…あまり思わない D…思わない】

## 【『楽しい・分かる・できる』が実感できる授業をめざして】

設問8「学校の勉強は分かりやすく楽しいですか」では、A/B（そう思う／大体そう思う）の割合が、学校全体で約70%の割合となっています。学年が上がるにつれて、学習内容は難しくなります。アンケートでもその結果が大きく影響しています。『10歳の壁』ということばがあります。4年生頃になると、体の成長も著しいですが、学習内容も頭の中でイメージして考えたり、抽象的に考えたりする必要があるなど難しくなります。そのためには、基本的な計算能力などを身につけておくことが、大切になります。そのために、掃除後行っている、数の広場での基礎基本の習熟や計算検定に向けての取組を続けていきたいと思います。

設問9「毎日忘れず宿題をしていますか」では、約75%程度の児童ができていると答えています。また、設問12にある自主学習については、約半数が取り組んでおり、低学年では70%以上の児童ががんばって取り組んでいます。しかし、学年を問わず、20%前後の児童ができていないと答えています。また、宿題ができていない児童は、自主学習も取り組んでいない傾向があるため、学習に対して苦手意識の強い児童がさらに苦手になっていくことが考えられます。

学習した時はできいていても、時間がたつにつれて忘れててしまいます。繰り返し取り組むことで少しづつ定着していきます。また、家庭学習の定着には、ご家庭と学校との連携が重要です。今後も『家庭学習の手引き』を参考に、ご協力をよろしくお願ひいたします。

## 『家庭へのお願い』

### ◆子ども達が、集中して学習できる環境づくり◆

学習中は、テレビを消して「ながら勉強」にならないような環境づくりが大切です。

### ◆子ども達の「やる気」が出る励ましの声かけ◆

「丁寧に字が書けたね。」「集中して学習ができたね。」などお家の方の一言で子ども達の学習意欲が高まります。これからもどうぞよろしくお願ひいたします。



## 自由記述欄に頂いたご意見・ご質問

※同様のご意見はまとめたり要約したりして掲載させていただいている。

- ・たてわり登山はとてもよい活動だと思う。
- ・良いことはほめ、悪いことは思いきり叱ってもらう指導は、子どもたちの成長にとって大切で、ありがたい。
- ・親の相談には耳を傾けていただいてうれしく思う。
- ・子ども達の言葉遣いが気になる。
- ・学校全体の雰囲気に違和感・違和感を覚えることがある。
- ・集団登校のできない子が年々増えているのが気がかり。
- ・休みの日に遊びに行く時に「友だちもお金を持ってきているから持っていく。」と毎週のように言われ困る。
- ・先生の怒り方が気になる。感情で怒るのはやめていただきたい。
- ・先生によって指導や指示の内容が違う時があるので揃えてほしい。
- ・掃除の時、役割を順番にしてほしい。
- ・SNSや染毛など、家庭での指導も大切。
- ・暗くとも公園で遊んだり、土曜・日曜や平日の夕方に子どもだけでスーパー・ゲームセンターに居たりするのを見かけるので、パトロールや子どもや家庭への指導を強化してほしい。

- ・ホームページの更新もっとしてほしい。
- ・先生方は子どもたちにしっかりと向き合って下さり、連絡も密でとても熱心に関わって下さっている。
- ・わが子も担任の先生が大好きで安心して学校に通学させることができている。
- ・相手を思いやれる、いじめのない学校づくりをお願いしたい。
- ・一人一人の子ども達の心の叫びを受け止めてやってほしい。
- ・登山を行う季節をもう少し暖かい時期に検討してほしい。
- ・きびしく教育してほしい。
- ・一斉指導や個々の指導をうまく使い分けてほしい。
- ・夏休み・冬休みの宿題の量が多すぎるように思う。もう少し加減してほしい。
- ・先生方だけが頑張って子どもたちを指導するだけでなく、親の協力も必要。

いただいたご意見・ご質問は、全教職員で共有・検討し、今後の取組に活かしてまいります。保護者の皆様には、学校だよりなどで取組としてご紹介することで、お答えしていきたいと考えています。今後ともご理解、ご協力をよろしくお願ひします。